

皆様の被災地訪問のご計画と実施をサポートさせていただきます。

モデルコース（例）

- ① 小名浜聖テモテ教会→原発事故の影響による帰還困難区域（常磐道）→新地町・聖ヨハネ教会（礼拝・お茶会参加など）
- ② 原発事故の影響による居住制限地域、帰還困難区域（浪江町、飯館村など）を中心に
- ③ 宮城県仙台市若林区荒浜・荒浜小学校（震災遺構）→名取市閑上地区など
- ④ 宮城県気仙沼市（リアスアーク美術館）・南三陸方面…旧防災対策庁舎（震災遺構）→気仙沼海の市シャークミュージアム→さんさん商店街など

どうぞお気軽にご相談ください。



毎月11日 午後2時46分の祈りと黙想
（東北教区主教座聖堂 仙台基督教会）

東日本大震災
被災者支援プロジェクトは、
これからも被災者と被災地に
寄り添って活動してまいります。

献金窓口

プロジェクトの働きのため、
皆様のご協力をお願いいたします。

金融機関：七十七銀行 一番町支店
口座種別：普通預金
口座番号：9204792
口座名義：宗教法人 日本聖公会東北教区

金融機関：ゆうちょ銀行
口座種別：郵便振替
口座番号：02270-7-119647
口座名義：日本聖公会東北教区
東日本大震災
被災者支援プロジェクト

お問い合わせ

MAIL : sien.tohoku@nssk.org
URL : <http://nssk-tohoku.com/support/>
FAX : 022-223-2387（東北教区事務所）



日本聖公会東北教区

東日本大震災 被災者支援プロジェクト



日々の祈りと働きとして
小さくても、止まることなく――

ごあいさつ

主のみ名を賛美いたします。

2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が発生してから、満8年がたちました。その間、東北教区は対策本部、支援室を立ち上げ、また日本聖公会全体の取り組みとして「いっしょに歩こう！プロジェクト」、「いっしょに歩こう！パートⅡだいに・東北」の働きを通して、4年の間、被災者の方々や被災地の復興に、微力ながら思いと力を注いでまいりました。4年前に「だいに・東北」の活動を終えるにあたり、私たちの心の到来したのは「まだ終わっていない。終わらせてはいけない」という思いでした。私たちの隣に苦しみ悩む人たちがいる限り、共に祈り、共に歩むことが東北に遣わされた教会の姿であると確信しました。

その確信は、2015年6月にスタートした東北教区東日本大震災支援室の働きに受け継がれました。そして2019年からは「日本聖公会東北教区東日本大震災被災者支援プロジェクト」として、被災者の皆さんに寄り添い続けながら、被災地と被災者の現状を全国に発信し続けようとしています。「共に祈り、共に歩む」小さな働きを継続することこそ、私たち東北教区がイエス様の御跡を踏むことだと信じます。

どうぞ今後とも引き続き、皆様方のお祈りとご支援、ご協力をお願い申し上げます。

日本聖公会東北教区主教
主教 ヨハネ 吉田 雅人

主な働き

- ◎ 被災地訪問への協力・案内
教会・学校・グループ等での被災地訪問の際に、コースの相談や当日の同行などといったお手伝いしています。



- ◎ 宮城県名取市関上 お買い物支援
買い物に不便な災害公営住宅の方々に、大型商業施設などへの送迎支援をしています。



- ◎ 教区大震災関連行事の運営協力
- ◎ 日本聖公会「原発のない世界を求めて」総会決議に関する協力
- ◎ 広報活動 教区ホームページ、教区報「あけぼの」に支援活動報告を掲載



- ◎ 福島県新地町 お茶会の開催
津波による被災者、東京電力福島第一原子力発電所事故からの避難者それぞれが生活していた仮設住宅で住民同士の交流を持つために開催をはじめ、仮設住宅を出られた今もそれぞれ続けています。



- ◎ 被災地巡りツアー
今、被災地がどのような状況にあるのか実際に見ていただく企画を年に数回開催しています。